

<私のパソコン人生>

私は一種の「パソコンおたく」である。これまでに手にしたパソコン（ワープロも含めて）はおそらく30台を超える。現在もパソコンと呼べるものは我が家には10台もある。最初の機種は市議員当選の祝いとして友人から贈ってもらった東芝のワープロ「RUPO70」だったが、打ち出した活字がきちんとした文書になっていることに驚いた。

それ以来RUPO90、HX、さらにはPC98ノート（当時はモノクロ液晶画面）からWINDOWS3.1、ついにWINDOWS95の登場、カラー液晶のPCとなっていくが、ここ数年はインターネットオークションで入手した格安PCを使っている。

年賀状4000通作戦

さて最初のRUPO70だが、私が挑戦したのは「年賀状4000通作戦」だった。年賀状4000通を買い込んで挨拶文を印刷したまではよかったが、4000人の宛名整理と宛名印刷は「大仕事」となった。なにしろ最初から4000人の宛名などどこにもなかった。RUPO70の宛名整理機能は300人の制限枠があり、しかも画面表示はわずか5行だけ。だから町内ごとに名簿の追加・訂正・ダブリ整理を繰り返し、やっと4000人のメドをつけた段階ではがきの宛名印刷にかかった。今と違って手差しで一枚づつ位置を微調整してセットし、印刷に一枚1分以上かかった、4000人分の宛名印刷は年末10日ほどかかりっきりとなってやっと仕上げた。

2年目からはさすがに名簿整理も追加と削除作業だけとなったので楽になった。やがてRUPOの自動はがき印刷トレイが発売され、20枚ほど差し込んでおけば自動送りで宛名印刷ができるようになった。

WINDOWS3.1あたりから「やはりパソコンのほうが仕事ができる」と思い始めた。WINDOWS95の出現とインターネットができるようになってからはもはや「ワープロでがんばる」時代は過去のものとなった。

ホームページ開設

私がWINDOWS95によってインターネットにかかわったのは多分1996年頃からはなかったかと思う。

SHARPの64万円のカラー液晶ディスプレイのラップトップパソコンが12万円で放出されたので買い求めこれを数年間使い込んでついに1999年5月25日にホームページの開設を果たした。この間すべて自学自習であった。これまでにどれだけの時間をパソコンのために投入したか、文書が瞬間で消えて復活できない、インターネット接続が切れて数日間つながらない、プリンターが反応しない、といったトラブルは数え切れない。そのたびに数日間侵食を忘れて深夜までパソコンにかかりっきりになって悪戦苦闘した。おそらくその時間数は数百時間におよぶ。しかし、おかげでたいいのパソコンの設定や不具合はわかるようになってきた。

議員のパソコン活用術

私は現在もポケットPCのTOSHIBAのGENIO400を使っているが、これが優れもので手放せない。ワイシャツのポケットにも入るので夏でも持ち運べる。液晶画面はケータイより少し大きく、WORD、EXCEL、画像表示、動画、録音など一応の機能を装備しており、バッテリーで5時間ほどは動く。しかもSDカードを使えばPC（インターネット）から取り込んだデータはいくらでも利用可能だ。

私は自分の議会質問、予算・決算委員会の議事録、本会議質問と答弁、市役所の基礎データ（インターネットから）をはじめ、年表類（国際、日本、中国関係、教育、福祉関係等々）や法律類（憲法、教育基本法、子どもの権利条約、世界人権規約等々）日本共産党の政策類、大会決定、政治論文等、研究者の論文など5~600種類の資料文書をポケットPCに入れて持ち運んでいた。たとえば宣伝カーの上に乗って「地方自治法第 条によると」と言った演説を即座にできるはずがないが、私はたびたび演説会や学習会、住民集会の場で必要なデータをポケットPCで参照しながら

「 月 日の委員会での局長答弁では 」と言って紹介して正確な報告をすることもできた。このポケットPCは重宝なので今では京都市議会議員団でも使っている議員が増えてきている。

